内子座楽屋企画展

内子座の壁

大正5年（1916）の創建以来、
文化の殿堂として親しまれてきた内子座
100年続く壁と、
新しい役割を持つ壁と、
内子座保存修理工事を通してご紹介します。



◇会期　2026年11月17日（火）～2027年1月31日（日）
※年末年始12/29～1/2は休館しています。

◇会場　内子座楽屋（愛媛県喜多郡内子町内子2102）

◇営業時間　9時～16時半

◇観覧料　大人200円　小中学生100円　※施設の入館料。内子町民の方は無料で入館できます。

◇問合せ　内子町町並・地域振興課　0893-44-2118
内子座楽屋　0893-44-2840

■内子座の壁

内子座の壁は、漆喰上塗りの真壁づくりの土壁で、内部は竹で小舞が編まれています。

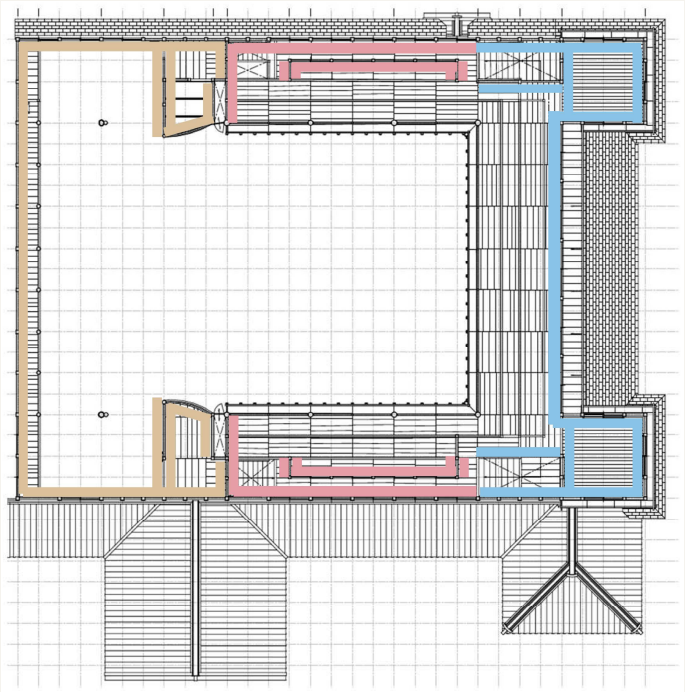
一方、この度の保存修理工事では、構造補強のため、その手段の一つとして壁面を利用した補強が進められています。これは、内部空間、特に舞台空間を妨げないようにしたためです。これにより、一部の壁は、ポリカーボネート樹脂製の補強パネルがはめ込まれ、その上に石膏ボードがとりつけられ、最後に漆喰で上塗り仕上げされます。

見た目は変わらない壁ですが、100年受け継がれてきた壁と、これから先の100年を守ってくれる壁があわさり、内子座の壁を構成することになります。（展示紹介文より）





▲保存修理工事において、壁補強や色味について試すために作成したモックアップ（実物大模型）を企画展にて展示していますので、ぜひご覧ください。



◀内子座内部の壁の色をおおまかに表現したものです。内部は創建当初から３つの空間に色分けされていたことがわかります。

- 舞台部分：黄色味のよどや漆喰
- 客席部：淡い赤色漆喰
- 木戸先部：あさぎ漆喰

今回の企画展では、壁土の原材料やモックアップで使用した土、実際の工事で使用している土なども展示しています。

内子座楽屋企画展
内子座の壁
2026.11.17～2027.1.31